

# LRQA独立保証声明書

## SCSK グループの 2021 年度温室効果ガス排出量インベントリに関する保証

この保証声明書は、契約に基づいて SCSK 株式会社に対して作成されたものである。

### 保証業務の条件

LRQA リミテッド (LRQA) は、SCSK 株式会社（以下、組織という）からの委嘱に基づき、2021 年度（2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日）SCSK グループの温室効果ガス（以下、GHG という）排出量インベントリ（以下、報告書という）について、下記の基準に対して LRQA の検証手順を用いて限定的保証レベルと検証人の専門的判断による重要性によって保証業務を実施した。LRQA の検証手順は、ISO14064-3:2019 を参照している。

LRQA の保証業務は、SCSK グループの日本国内外 23 社の拠点と事業活動、および以下の要求事項を対象とする。

- 選択されたデータが組織の定める報告方法に従っていることを確認すること。
- 下記の選択された指標のデータと情報の正確性および信頼性を評価すること。
  - 直接的な GHG 排出量<sup>1,2</sup>（スコープ 1）
  - エネルギー起源の間接的な GHG 排出量（スコープ 2）  
ロケーションベースおよびマーケットベースによる
  - その他の間接的な GHG 排出量（スコープ 3） カテゴリ 1, 2, 3, 5, 6, 7, 11 および 12<sup>3</sup>

保証業務の範囲は、報告書に言及されている組織のサプライヤー、業務委託先、その他第三者のデータおよび情報を除く。また、組織の GHG 排出量インベントリは、エネルギー起源の CO<sub>2</sub>以外の GHG 排出量、グループ会社が使用している賃貸事務所における把握が困難なエネルギー使用からの GHG 排出量を除外している。算定対象から除外されているこれらの GHG 排出量は、組織の総 GHG 排出量に対して相対的に小さいものである。

LRQA の責任は、組織に対してのみ負うものとする。脚注で説明されている通り、LRQA は組織以外へのいかなる義務または責任を放棄する。組織は、報告書内の全てのデータおよび情報の収集、集計、分析および公表、および報告書の基となるシステムの効果的な内部統制の維持に対して責任を有するものとする。報告書は組織によって承認されており、その責任は組織にある。

### LRQA の意見

LRQA の保証手続において、組織が全ての重要な点において、

- 上記の要求事項を満たしていない
- 下の表 1 に要約された GHG 排出量について正確かつ信頼性のあるデータを開示していない  
ことを示す事実は認められなかった。

表明された意見は、限定的保証水準<sup>4</sup>及び検証人の専門的判断による重要性に基づいて形成された。

<sup>1</sup> GHG 排出量は、排出係数等を用いて定量化するため、それ自体が固有の不確かさを持つ。

<sup>2</sup> スコープ 1 及び 2 排出量の定義は、The Greenhouse Gas Protocol – A Corporate Accounting and Reporting Standard による。

<sup>3</sup> スコープ 3 排出量のカテゴリは、Greenhouse Gas Protocol – Corporate Value Chain (Scope 3) Accounting and Reporting Standard, Table 5.3 の定義による。

<sup>4</sup> 限定的保証業務の証拠収集は、合理的な保証業務に比べて少ない範囲で行われ、各拠点を訪問して元データを確認するより集計されたデータに重点を置いている。従って、限定的保証業務で得られる保証水準は合理的な保証業務が行われた場合に得られる保証に比べて実質的に低くなる。

**表 1. SCSK グループの 2021 年度 GHG 排出量インベントリの要約**

<b>GHG 排出量のスコープ</b>	<b>t-CO<sub>2</sub></b>
直接的な GHG 排出量（スコープ 1）	306.9
エネルギー起源の間接的な GHG 排出量（スコープ 2） ロケーションベース	67,417.5
エネルギー起源の間接的な GHG 排出量（スコープ 2） マーケットベース	39,536.8
その他の間接的な GHG 排出量（スコープ 3）	493,934.4
カテゴリ 1 購入した製品・サービス	231,542.2
カテゴリ 2 資本財	24,302.3
カテゴリ 3 Scope 1,2 に含まれない燃料及びエネルギー 関連活動	10,455.9
カテゴリ 5 事業から出る廃棄物	315.4
カテゴリ 6 出張	1,270.2
カテゴリ 7 雇用者の通勤	3,440.2
カテゴリ 11 販売した製品の使用	222,591.9
カテゴリ 12 販売した製品の廃棄	16.3

注：スコープ 2 のロケーションベースとマーケットベースは、GHG プロトコルスコープ 2 ガイダンス 2015  
年版の定義による。

## LRQA の保証手続

LRQA の保証業務は、LRQA の検証手順に従って実施された。結論を得るために、保証業務は証拠収集の一環として次の事項を含んで実施された。

- netXDC 三田センターと西日本北浜オフィスへのサイト審査を実施した。
- データと記録の管理を担当する主要な要員へのインタビューを実施した。
- 報告書の重要な誤り、脱漏および記載の誤りを予防するように構築された組織のデータ管理システムを審査した。我々は、組織の東京本社において内部の品質管理を含めたデータ管理の手順、指針およびシステムの効果的な実施をレビューすることでこれを実施した。
- 集計された 2021 年度実績データおよび記録の検証を実施した。

## 観察事項

保証業務を通じた更なる観察および発見事項は以下である。

- 組織が引き続き、最新の排出源の把握、GHG 排出量算出手順の継続的な見直し、および内部のデータチェックの強化に努められることが望まれる。

## LRQA の基準、力量及び独立性

LRQAは、少なくともISO 14065「温室効果ガス認定又は他の承認形式で使用するための温室効果ガスに関する妥当性確認及び検証を行う機関に対する要求事項」およびISO/IEC17021-1「適合性評価—マネジメントシステムの審査及び認証を行う機関に対する要求事項 - 第1部：要求事項」の品質管理に関する国際規格の要求事項を満たし、また、国際会計士倫理基準理事会より発行されている職業会計士のための倫理規定に従った包括的なマネジメントシステムを運用し、維持している。

LRQAは、その資格、トレーニング及び経験に基づき、適切な資格を有する個人を選任することを保証する。全ての検証および認証審査の結果は上級管理者によって内部でレビューされ、適用された手続が正確であり、透明であることを保証する。

LRQAが組織に対して提供している業務はこの検証のみであり、そのため我々の独立性あるいは中立性が損なわれることはない。



署名

A handwritten signature in black ink, appearing to read "Shigeaki Chiba", is placed here.

日付: 2022年7月22日

千葉 宙明

LRQA 主任検証人

LRQA リミテッド

神奈川県横浜市西区みなとみらい 2-3-1 クイーンズタワーA10F

LRQA reference: YKA00000718\_4B

LRQA, its affiliates and subsidiaries, and their respective officers, employees or agents are, individually and collectively, referred to in this clause as 'LRQA'. LRQA assumes no responsibility and shall not be liable to any person for any loss, damage or expense caused by reliance on the information or advice in this document or howsoever provided, unless that person has signed a contract with the relevant LRQA entity for the provision of this information or advice and in that case any responsibility or liability is exclusively on the terms and conditions set out in that contract.

The English version of this Assurance Statement is the only valid version. LRQA assumes no responsibility for versions translated into other languages.

This Assurance Statement is only valid when published with the Report to which it refers. It may only be reproduced in its entirety.

Copyright © LRQA, 2022.